

NO. 189

2009. 3. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会
(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

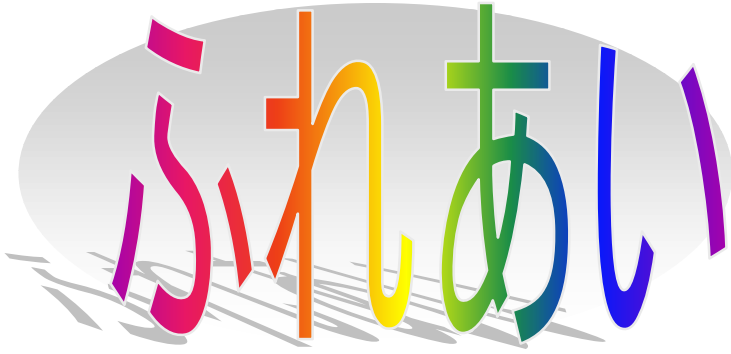
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06 (6765) 5621 FAX 06 (6765) 5623



『より連携を深めて』

社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会

理事長 魚住 誠一

昨年の七月に大阪市障害者福祉・スポーツ協会に着任以来、八ヶ月以上が経過いたしました。以前の職務経歴の三分の一以上を、障害のある方々の福祉を担当させていただき、その中で多くの方々との出会いがあり、多くのことを学ばせていただきました。障害のある方々に寄り添い、同じ目線で考え、行動することの大切さなどであります。今度は、具体的な事業のなかで実践していかなければなりません。幸いにして、ここ社会福祉センターのなかには、貴育成会の笹野井理事長や身体障害者団体協議会の手嶋会長をはじめ、多くの福祉関係者の方々がおられます。

よりよい障害者支援に向けて、これらの方々とは、育成会と当協会は、毎年実施される育成会の「スポーツフェスタ」の会場としての「長居・舞洲障害者スポーツセンター」のご使用や「大阪市障害者スポーツ大会」の大阪市との共催などを通じ、これまでスポーツ分野における連携を深めてまいりました。

両スポーツセンターの知的な障害のある方々のご利用は、平成十九年度延べ約十三万人となっております。多くの方々スポーツを楽しみました(長居・約

6万6千人・舞洲・約6万3千人)。昭和四十九年に長居障害者スポーツセンターがオープンいたしました時を思い返しますと隔世の感じがいたします。

園」、さらに児童通園施設としての「更生療育センター」(初代所長は、大浦敏明先生)の運営などを行っております。

また、十八年度から長居・舞洲両センターが取り組んでおります、障害のある方々の身近な地域でのスポーツ・レクリエーション環境作りや活動を支援いたします「地域プロジェクト事業」(出張教室)では、現在、育成会の西淀川・鶴見区支部との連携も深めており、より多くの区で展開できればと思っております。

舞洲障害者スポーツセンターの福祉ショップでは、当協会の授産製品とともに育成会の授産施設での製品を出品いただくなど、この分野での連携にもご協力をいただいております。

この他私ども法人では、障害者自立支援法の通所授産施設として、「千里作業指導所」「此花作業指導所」とあわせ、二十年度から「中央授産場」を運営いたしますとともに、通所更生施設としての「中津更生

さらに、就労分野では、「職業リハビリテーションセンター」や「職業指導センター」の運営にあわせ、「障害者就労・生活支援センター」の運営を、育成会港第二育成園(大阪市西部地域就労支援センター)などとともに担っております。

障害のある方々のニーズに的確に応え、これらの方々が、住み慣れた地域で安心して生活できますた

障害のある方々のニーズに的確に応え、これらの方々が、住み慣れた地域で安心して生活できますた